

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	YCCもこもこ大和田教室		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65名	(回答者数) 44名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		～ 2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまと保護者様のニーズをベースとした、個別と小集団を組み合わせた、学習支援及び交流支援	お子さまそれぞれにとっての必要な「学び」を、特性や関心を踏まえ、学年にとらわれず、個別に支援します。それぞれのお子さまにとっての個別の「学び」を通じて、自信を育て、自己肯定感を高め、社会の中で生きる力に繋がる支援を行っています。	将来の自立に向け、お子さまひとりひとりにとって適当な支援を行い続けるために、お子さまと保護者さまのお話を伺い、随時アセスメントを行い、制度(福祉に限らず)更新に伴う情報提供を行います。
2	ご家族さまへの様々な相談支援	事業所内のことのみならず、ご家族様の様々なご心配(進路のこと、学校・家庭生活での困り、きょうだいのこと、親子のこと、手続きのこと等々)に対し、相談内容に制限を設けず、一緒に考えることをモットーとしています。必要に応じて、情報提供や機関連携も図っています。	相談に対し、より適切な支援を行えるよう、関係機関との連携を通じた関係の向上を図ります。また、福祉、教育、労働等、関係する制度の情報収集及び情報提供を行います。
3	「学ぶ」と共に、お子さまにとっての「好きな居場所」であること	「学習」への自信の減少は、周囲からの評価や自身の失敗体験から来ていることもあるため、お子さまそれぞれの頑張りや達成に対して、ポジティブな評価を送り、自信の涵養に努めています。また、ボードゲーム等の小集団での遊びを通じ、誰もが受け入れを感じられる場を作っています。	お子さまひとりひとりに応じた「学習課題」の種類の研究開発、小集団のムードに適した「ゲーム」の充実化を図り、より自信が深められるよう、より楽しさを感じていただけるよう、不断の取り組みを続けます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会の少なさ	個別支援を中心とした事業の性質上、不特定者との交流を希望しない方もいらっしゃることもあり、機会の実施は馴染まないところがあると考えています。	個人情報の保護を前提とし、希望者を募る形式で、「学び」の一環として、世代間交流や機関交流の機会は企画していければと考えております。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 YCCもこもこ大和田教室

公表日 令和7年4月21日

回収数

利用児童数

65

44

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	43	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	40	2	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	0	0	1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	44	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	42	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	40	0	0	4		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	7	21	・特に必要ないと思います。 ・そういった機会は保護者として希望して いないので、なくて大丈夫です。	・個人情報保護の観点からも、交流前提 の支援の実施は行っていません。ただ し、任意で参加できる地域主催のイベ ントなど、保護者さまへの情報提供やご 案内は行って参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	44	0	43	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	44	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	36	2	0	6		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	43	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	43	0	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	44	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	24	5	1	13			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	37	4	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	41	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	38	2	0	3	・避難場所等は知らされているようです。	・事業形態上、一斉訓練の実施は難しい面がありますが、防災教育として、非常時の対応の知識はひろくお伝えしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	2	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	43	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39	2	0	2	・いつも行くことを楽しみにしていて、休む時は、嫌がるくらいです。	・引きつづき、ご利用者さまにとっての安心できる場所となれるよう、努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	0	0	0	・子どもたちの性格を理解してくれてとても助かっています。ありがとうございます。	・ひとりひとりのニーズに寄り添い、その時々に必要な支援を、一緒に考え、取り組んで参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YCCもこもこ大和田教室				公表日	2025年4月21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		学習機の配置は、利用者同士が気にならない距離で配置しております。クールダウンできるスペースや畳スペースもあります。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基本人員の配置に加配の職員を加えた体制を取っております。小学生は基本1:1での療育をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		遊ぶ道具などは気が散らないように視覚的には目立たないようにしています。事業所前の道路の交通量が多いので、申し送りの際はお子様が一人では外に出ないように声かけやスタッフが付き添っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こまめに清掃や消毒を行い、設備の不具合などを常時確認しております。壁面飾りは学習するにあたり気が散らないようなものにしてあります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室と個別対応できる面談室を使ったりソファがあるスペースを整えてあります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		イベント時などは振り返りを行うなどのミーティングを行っています。必要な改善点は全体で共有しております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様向けの評価表にてアンケートを配布しています。保護者様との面談で得られた意向などを共有し改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		どの立場であっても自由に意見ができるような環境にしております。定期的に面談を行い職員の意見を聞いています。その際の意見について振り返りも行っていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価制度は導入されていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部、外部研修を毎月1回以上参加しております。研修後には、報告書を作成しスタッフ全員が周知できるようにしています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日頃からのお子様とのかかわりや、保護者様との面談、参考質問紙にてニーズをお聞きしています。その後会議を行い放課後等デイサービス計画書を作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		常に、担当者で検討する機会を設けており、計画書作成時には他の職員とも共通理解ができるようにしております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に短期、長期目標を掲げ、その目標に沿って支援を行っています。適切に管理された状態で職員間で共有されています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所共通のアセスメントツールを活用し支援中の言動や表情を観察しアセスメントをしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は個別支援計画書に5領域に留意した支援をしております。「家族支援」はご家族様が安心して話せるように環境を整えています。「移行支援」は進路の相談や情報提供を行っています。移行先の連携についても必要があれば行います。「地域支援・地域連携」は保護者様からのご依頼があれば連携をしていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		提供時間前にスタッフ間でお子様の様子を共有し、活動内容の検討を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個々の目標に沿った学習を行いつつ、季節に応じた内容にも取り組んでいます。また、内容が固定しないように、かつ少しでも楽しいと思えるように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様の状況や保護者様の要望に合わせて個別と集団での活動を組み合わせた計画を作成・実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前には必ずその日に来所されるお子様の特性、状況を共有し支援内容の役割分担を決めたうえで支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		活動後にはスタッフ間で情報共有を行いますが、出来ない日には、書面をもって共有するか、後日振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		担当スタッフがお子様の活動内容や様子を支援終了後に記録を毎回作成しております。支援を振り返ることで検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者様との面談や日々の聞き取りの中で目標等の見直しが必要と判断した場合は評価後に、計画書を見直ししております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		利用者様ごとに基本活動は組み合わせ合わせて支援を行っていますが、地域交流については、実施できていないです。	個別支援を主軸とした支援形態ということもあり、地域交流はなじまない側面がありますが、個人情報に配慮した交流の形についての検討は行って参ります。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		それぞれの利用者様の年齢などに応じて選択ができる支援を組み込んでいます。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議開催時には児童発達管理責任者と担当スタッフの参加を基本としております。その内容については事業所にて共有しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保護者様の希望がある際は、情報提供や連携を積極的に行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者様の希望がある際は、下校時間や年間行事予定を伺うなど、積極的に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		今年度は該当者がおられませんでした。保護者様から依頼があった場合は、情報を共有します。	就学前所属機関との情報連携の仕組みは確立されていないものの、適宜の共有を通じて、相互理解を深めたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者様からご希望があった際は情報の提供をします。今年度は共有を行う予定です。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		通所支援事業所連絡会に定期的に参加し、研修に参加しております。個々の問題がある際も共有し助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		事業所としての交流活動は行っておりません。	事業所として、機会があれば行う予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会への参加はしていませんが、通所支援事業所連絡会には定期的に参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に、保護者様に日頃の様子をお聞きし、職員からは活動内容を口頭で伝えております。また、お子様の活動内容や様子を記録し保護者様にお渡しをしております。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家庭や学校での様子、学習方法について伺い、ご家庭でもご負担なくできる声かけの仕方や対応方法をお伝えしております。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に事業所の方針・ルール・負担額の仕組みなどについて詳しい説明を行っております。説明後に同意のうえで契約を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもたちと係わる中で希望を共有し、保護者様に対しては意思を確認する機会を口頭や書面でいただいています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書お渡し時には書面をもって説明をした後同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育ての悩みなどは、主に管理者、児童発達管理責任者がお受けし学習面については担当職員が状況を伺うなどそれぞれに合った支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会を定期的で開催し、保護者同士に交流や情報交換をする機会を作っております。きょうだい同士で交流する機会は、現時点では実施しておりません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付担当者を設置しており苦情があった場合には真摯に受け止め速やかに対応を行うように心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ内のブログで発信しております。イベント時には、お手紙で保護者様にお知らせをしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に個人情報保護方針に関する規定を設けており遵守に努めています。書類関係等は他の方の目に入らないように配慮をしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもたちの状況に合わせて、タブレット、筆談、ホワイトボードを使い大きく図示などの対応を行っています。保護者様と直接お話をする際も分かりやすい言葉や、書面などの対応もしております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		現在は個人情報の関係もあり地域との交流はしておりません。事業所フェアなどには参加しております。近くの学校の実習生の受け入れをしております。	個人情報に配慮の上で、地域の交流のイベントの周知など、参加を希望される方が参加しやすい環境づくりに努めます。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種のマニュアルを策定し、職員にはフローチャートをもとに研修を行っております。保護者様には適時対応についてはお伝えしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		感染症、自然災害についてBCPを策定し、適時物品確認や研修を実施しており、役割分担の確認も行ってあります。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約前（初回面談時）に必ず確認をしており対応が必要なお子様については、対応表を作成し職員皆で周知しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様からの聞き取り、アレルギーがある食物についての確認をしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づき、安全管理について定期的に確認をしております。研修なども参加しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書にて説明をしています。安全計画に基づいて防災教育などを実施し、保護者様にも周知をしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員には積極的な報告を促しております。報告書については、各事業所にて共有し方策については話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の設置と年1回以上の虐待防止、権利擁護の研修会を実施しております。年2回ストレスチェックもしております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束をする場合の要件を明確にし同意を得ております。計画書にも記載しております。		